生誕120年　三岸節子展
関連図書資料展示



設置場所：横須賀美術館 図書室（本館2F）
設置期間：2026年11月14日（土）～12月20日（日）
休室日・開室時間は美術館に準じます。

横須賀美術館図書室では、開催中の企画展に関連した所蔵資料を集めて展示したコーナーを設置しています。
上記期間中は、本展公式図録のほか、三岸節子にまつわる図書資料をご覧いただけます。ご利用は無料です。展覧会とあわせてお立ち寄りください。

リストの見方：『タイトル』 著者名（出版者，出版年）＊概要

資料の一部をご紹介

『花より花らしく』三岸節子 著（求龍堂，1977年） ＊生涯にわたり花を描き続けた画家の初の随筆集。過酷な画壇を生き抜いた執念と情熱の記録です。

『黄色い手帖』 三岸節子 著（求龍堂，1983年）＊諸般の事情により出版が遅れた幻の随筆集第2弾。女流画家の情熱と壮絶な生きざまを濃密な文章で綴ります。

『美神の翼』 三岸節子 著（求龍堂，1980年） ＊長年の絶版を経て待望の復刻を遂げた名著。40代の瑞々しい感性で芸術と人生を熱く語ります。

『三岸節子 修羅の花』林寛子 著（講談社，1989年） ＊著者の取材による三岸節子伝。波乱万丈な運命と画業への執念が、対話から生まれた肉声で綴られます。

『炎の画家 三岸節子』吉武輝子 著（文藝春秋，1999年） ＊完成に九年を要した大作。画家の激動の生涯と、明治～平成の日本社会を浮き彫りにします。

『三岸節子 仏蘭西日記』三岸節子仏蘭西日記刊行委員会編（リーヴル，2010年）＊南仏で風景画に挑んだ日々の記録。描くことの孤独や葛藤に迫る一冊。

『花こそわが命』三岸節子 著（求龍堂，1996年） ＊画業を一望する自選作品厳選50点と名随筆による画文集。“美事な生涯”を振り返ります。

『旅へのいざない』三岸節子 著（求龍堂，1997年） ＊在仏20年の間にヨーロッパ各地を巡り、現地で描き上げた風景デッサン104点と書き下ろし随筆を収録。

『三岸節子展 永遠の花を求めて』朝日新聞社事業本部文化事業部[ほか]編（朝日新聞社，2005年）＊生誕100年記念の回顧展図録。求道的な画家人生の軌跡を代表作95点とともに見つめます。

『特別展 三岸節子 色彩のエスプリ』一宮市三岸節子記念美術館 編（一宮市三岸節子記念美術館，2010年）＊没後10年を機に、これまで注目されてこなかった画業前半期に焦点をあて、芸術の芽生えとその後の発展をたどります。

『三岸節子』一宮市三岸節子記念美術館，神戸市立小磯記念美術館，横須賀美術館 編（青幻舎，2026年）＊画業を展覧する代表作70点と、最新の研究成果を踏まえた詳細な年譜、文献目録を収録。